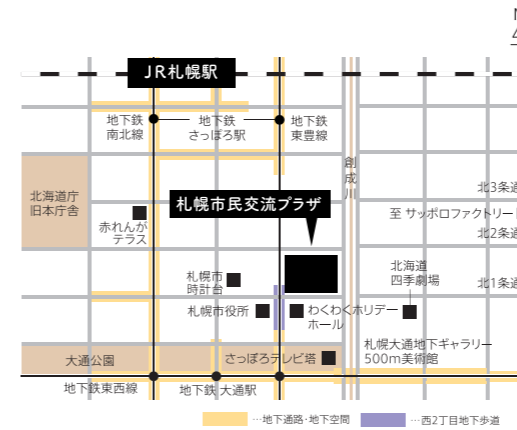


## 札幌市民交流プラザ

SAPPORO COMMUNITY PLAZA



### 地下鉄「大通」駅直結！

札幌市中央区北1条西1丁目 さっぽろ創世スクエア

## WAVE TIMES

「WAVE TIMES (ウェーブタイムズ)」は、「札幌市民交流プラザ」の施設紹介やイベント、トピックスなどの情報を発信している冊子です。

札幌市民交流プラザ 情報誌 vol.6 発行 2019年2月15日

発行元

公益財団法人 札幌市芸術文化財団 札幌市民交流プラザ  
〒060-0001

札幌市中央区北1条西1丁目

TEL:011-271-1000 (9:00-22:00 ※休館日を除く)

◎本誌からの写真・文などの無断転載を禁じます



<https://sapporo-community-plaza.jp>



札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー



あいプラン、MORIHICO、伊藤組土建、岩倉建設、岩田地崎建設、札幌駅前通まちづくり会社、札幌大谷学園、札幌大通まちづくり会社、札幌市交通局、札幌振興公社、札幌都市開発公社、サッポロホールディングス、ANAクラウンプラザホテル札幌、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつ、ANA、大成建設、さっぽろ東急百貨店、日本航空、ホクレン、北海道エアシステム、北海道科学大学、北海道中央バス、道民共済、丸彦渡辺建設、よつ葉乳業、北海道ガス、氏家記念こどもクリニック、倉澤高圧コンクリート、遠藤興産、SAPICA、三精テクノロジーズ、大丸札幌店、日建設計、豊建商、大通り矯正歯科、岡本内科クリニック、柿崎歯科、クリーンアップ、ホクリヨウ、北洋銀行、北海道銀行、朝日新聞社、阿部小児科医院、アムテック、アルシス、ウエス、AIRDO、おしま内科胃腸科クリニック、河上水産、TAT札幌、グリーンネットワークス、ケープラス・ロジ、札幌商工会議所、札幌豊栄輸送、すずらん乗馬クラブ、タイムズ24、みよしの、東京海上日動火災保険、なんごう耳鼻咽喉科、ニューオータニ札幌、ネクステップ、北海道信用金庫、北海道熱供給公社、北海道マツダ、マウントアライブ、明治安田生命、山二、六書堂、北海道放送、札幌テレビ放送、北海道テレビ放送、北海道文化放送、テレビ北海道



SWAN LAKE  
**「白鳥の湖」**  
 鑑賞レビュー

2018年11月23・24日、札幌文化芸術劇場 hitaru (ヒタル)  
 オープニングシリーズとして公演された、全4幕のクラシックバレエ「白鳥の湖」。  
 満場の観客からため息がもれるほどに、美しく幻想的な舞台だった。

SPECIAL INTERVIEW

初日の舞台裏にて、公演を終えただけのプリンシパルのお二人、  
 そして芸術監督の大原永子さんにインタビュー。  
 札幌の感想と舞台の印象を伺いました。



オデット／オデイル：小野絢子（写真：左）

今回の公演をバレエ団全員が楽しみにしていましたので、まずは無事に初日を終わらせたことにホッとしています。お客さまからは、すごく入り込んで見てくださっている感じが伝わってきて、私たちも集中して演じることができました。また、初めて共演した札幌交響楽団の皆さんも終演後の表情や雰囲気から、とても楽しんでくださったように感じています。観ていただいた方には私たちの踊りはもちろん、音も一緒に心に残ってくれたらうれしいです。

●新国立劇場バレエ団プリンシパル／東京都出身、小林紀子バトリック・アルモン、牧阿佐美に師事。2007年に新国立劇場バレエ団にリリストとして入団。直後にピントレー・アラジンの主役に抜擢され、その後、数多くの作品で主役を務める。主な受賞歴にアデル・リン・ジエー国際バレエコンクール金賞など。

ジークフリート王子・福岡雄大（写真：右）

札幌文化芸術劇場 hitaru は新国立劇場よりもお

優美な白鳥たちは、例年より遅い初雪とともに札幌の舞台に舞い降りた。クラシックバレエの代名詞とも言える演目「白鳥の湖」。チャイコフスキー作曲のバレエ音楽と4幕から成るドラマチックな構成は、19世紀末のロシアでの初演から百年以上もの間、世界中のファンを魅了し続けている。

新国立劇場バレエ団の改訂振付版では、第1幕の前に「プロローグ」があり、悪魔ロートバルトがオデット姫を白鳥の姿に変え、城から連れ去るシーンが描かれた。初めて観る人にとっては、物語の解釈に効果的な導入だと思われる。小野絢子演じるオデットは、清廉な印象だった。セリフのないバレエは肉体的表現がすべて。



俯きと愁眉から白鳥オデットの哀切が伝わり、踊りは軽やかで、体重移動を感じさせないリフトのフィニッシュも見事だった。

一方、福岡雄大のジークフリート王子は、若々しくエネルギーギッシュ。無垢でどこかあどけないイメージの前半から、物語が進むにつれて少しずつ、人間として成長していく様が見て取れた。

ダンサーがバレエ公演の核であり「魂」だとするならば、「品格」を決めるのは舞台美術と衣裳だろう。第1幕の宮殿のセットは、よく見ると柱の上部や装飾品の像に白鳥があらわれた、凝ったものだった。第2幕が開くと、瞬時にそこは深い森の湖畔。観客全員が、闇の中に浮かび上がる白鳥の群舞に目を奪われたに違いない。

その一糸乱れぬコールド・バレエのインパクトは、これまで幾度か札幌で観てきたものとは全く別次元。多数の白鳥たちが重なり合うことで、白いヴェールの層のような美しさや気高さが生まれていた。これは、舞台上に奥行きがある札幌文化芸術劇場 hitaru の誕生によって初めて体感できたものだ。

そして第3幕、二役で黒鳥オデイルを演じた小野の表情は、オデットの時とは別人のよう。口角を上げて目を大きく見開き、妖艶な笑みを浮かべて王子を誘惑する。黒鳥の見せ場である32回連続のグラン・フェッテでは、会場から大きな拍手が起った。

また、札幌交響楽団による演奏は、全編を



通してふくよかで叙情的な音色を響かせ、公演を盛り上げた。カーテンコールで壇上に立った指揮者のアレクセイ・バクランが、このほか「機嫌に見えたことも付け加えておきたい。客席には子供たちの姿も目立った。幼い頃からグラン・ド・バレエを鑑賞できる環境が整った札幌で、ぜひ未来のプリンシパルが育つてほしいと思う。

（フリーライター 矢代真紀）

【※1】大勢で一緒に踊る群舞のダンサーたちのこと

【※2】グラン・フェッテ・ファン・トゥールナン、片足を下ろさずに動かしながら回転を続けること

【※3】本格的なセットによる多幕のバレエ作品

撮影：Y'S PHOTO SELECTION 木本忍

客さまとの距離が近く、見られている感覚をとても強く感じました。お客さまを身近に感じられる分、踊りにも力が入りましたし、個人的にはとても好きな劇場ですね。照明の当たり方など劇場に合わせて調整するのに苦労はありましたが、スタッフの皆さんのおかげで楽しく初日を終わられて感謝しています。今日が初めての舞台でしたから、劇場の使い方にはまだまだ余地があると感じています。2日目は、さらにバレエと音楽が一体化した舞台をお届けしたいと思っています。

●新国立劇場バレエ団プリンシパル／大阪府出身、ケイ・パレスタジオで矢上香織、久留美・恵子に師事。2003年文化庁在外研修員としてチエリ・ヒシエタバレエ団に入団、ソリストとして活躍。その後、数々の賞を受賞し、2009年に新国立劇場バレエ団にリリストとして入団。2018年には芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。

芸術監督：大原永子（写真：中央）

新国立劇場では、かねてより東京以外の地域での公演を模索していましたが、劇場の規模の問題もあり、簡単ではありません。今回、札幌文化芸術劇場 hitaru の誕生によって北海道で上演できたことを大変喜ばしく思っています。新国立劇場よりも客席数が多いことから集客の面で不安もありましたが、すぐに完売となったことと、とても感謝しています。また、公演後のお客さまの反応も温かく、とても幸せに感じています。ここは本当に良い劇場です。また皆さまにお目にかかれることを楽しみにしています。

●新国立劇場バレエ団芸術監督／東京都出身、牧阿佐美バレエ団に結成と同時に入団。プリマ・バレリーナとして古典、創作を問わず数多くの作品に出演する。海外のバレエ団でも活躍し、1997年には大英勳章(OBE)を日本人アーティストとして初めて授与された。2004年に紫綬褒章を受章。2014年より新国立劇場の芸術監督に就任。

（取材・文／児玉源太郎）

演出家・齋藤歩さんに聞く

# 「ゴドーを待ちながら」

昨年12月に札幌文化芸術劇場 hitaru クリエイティブスタジオで  
上演されたサミュエル・ベケットの「ゴドーを待ちながら」。

ノーベル文学賞作家の不朽の名作を齋藤歩さんはどのように演出し、  
何を伝えようとしたのか？ その舞台に秘められた思いを伺いました。



それはとても不思議な舞台でした。一本の木が立っている道の上で、2日間の出来事が繰り広げられた「ゴドーを待ちながら」。「ゴドーを待つ2人の男性と、そこを通り掛かった奇妙な2人組、そして、ゴドーからの伝言を伝える少年が織りなす物語は、登場人物の発する言葉の意味が理解できなかつたり、つじつまの合わない会話が展開されたり。初めて見た人は最初、日本語を聞いているはずなのに何がなんだか分からなかつたかも知れません。しかし、齋藤歩さんは「分かりやすさよりもサミュエル・ベケットの台本通りに演出した」と振り返り、その真意を「『ゴドー』は不条理劇の傑作といわれますが、本来は喜劇。難しい話ではないんです」と説明します。「人の話を聞いていなかったり、一生懸命話しているのに伝わらなかつたりというのはこの世の中によくあること。『ゴドー』にはそうした、なんだっけ？」「何を話していたらいい？」という、とぼけた面白さが随所に散りばめられていて、最後は大のおとなが子どもにやられちゃう。それって本来、すごく笑えることだと思うんです」。

そもそも「ゴドー」は「原文のフランス語や英語だと言葉のテンポがよく、面白い掛け合いになっている」と話す齋藤さん。日本語版は翻訳時に文学的な言葉遣いになり、セリフとしてのテンポ感が失われてしまったといいます。そこで齋藤さんは原文のフランス語と英語、そして数種類の日本語の翻訳を精査。対訳表を作り、本来のリズムに近いセリフを紡ぎました。「例えば、僕が靴を脱ぐときのセリフに『どうもならん！』というのがありまし



©高橋克己

たが、あれは日本では「何としたことか」と翻訳されています。また、ピーター・ホルの演出で最初に「ゴドー」が上演された際の少年のセリフも「イエッサ」「ノーサー」「アイトンノーサー」と「サー」が付いて、かわいい響きになっているのですが、これも日本だと「サー」が意識されて堅苦しい言葉に翻訳されてしまいました」。

今回の「ゴドー」に「演劇を二つのエンターテインメントとして楽しんでいたとき、皆さんの中に何か一つでも共感したり、考えさせられたりしたことがあれば」と願う齋藤さん。序盤は話分かりづらいものの、リズムカルな会話が進むうちにグイグイと引き込まれていった齋藤さんの「ゴドー」。最初は冗長に感じたはずが、気づけば上演時間の2時間があという間に過ぎていたという、不思議な体験をした人も多かつたのではないのでしょうか。

俳優・演出家 齋藤 歩

1964年釧路市生まれ。北海道で数々の劇団に携わり、2000年より東京を拠点に活躍。2016年より札幌に移住し、北海道演劇財団の専務理事・芸術監督に就任。2002年に作・演出した『冬のハイエル』は東京新聞の現代劇ベスト5に選ばれた。

堅苦しい、難しそう、高尚な趣味……。オペラに対してそんなイメージを抱いていませんか？  
実はオペラって、もつと気軽に楽しめるんです。さあ、オペラカーテンの向こうに広がる、きらびやかな世界に酔いしれてみましょう！

## オペラは舞台芸術の華

オペラは、簡単にいうと「音楽に合わせて進む劇」です。最大の特徴は「歌劇」という別名の通り、セリフを役者が「言う」のではなく、歌手が「歌う」ところ。オーケストラの伴奏に乗せて、1人で歌う「独唱(ソロ)」や複数で歌う「重唱(アンサンブル)」、大勢で歌う「合唱」により会話や感情などを表現します。また、大掛かりな舞台装置や豪華な衣装も見どころの一つです。

演劇やミュージカル、バレエ、能・狂言、歌舞伎など舞台芸術と呼ばれるものはたくさんありますが、オペラは音楽、演劇、文学、美術などの魅力がすべて凝縮された「総合舞台芸術」といえます。

## オペラの楽しみ方は多様

オペラは基本的に外国語で演じられますが、セリフに合わせて舞台横に日本語字幕が表示されるので安心を。専門的な知識も必要ありませんが、前もって公演の特設サイトやパンフレットであらすじを押さえておくといいかもれません。

昔からオペラの劇場は社交場としての役目も果たしてきました。人々は「劇場へ出掛ける」という非日常そのものを楽しんでいました。それは今も変わりません。ストーリーや音楽、歌、美術に注目して鑑賞するのはもちろん、「どんな服を着ていこうか」「終わったところで食事をしようか」とあれこれプランを立てるのも、オペラの楽しみ方の一つです。

いつもより少しおしゃれをして、特別な気分を過ごす優雅でゼいたく時間。今年には札幌文化芸術劇場 hitaruでオペラ鑑賞デビューしてみませんか？

# Viva! Theater life

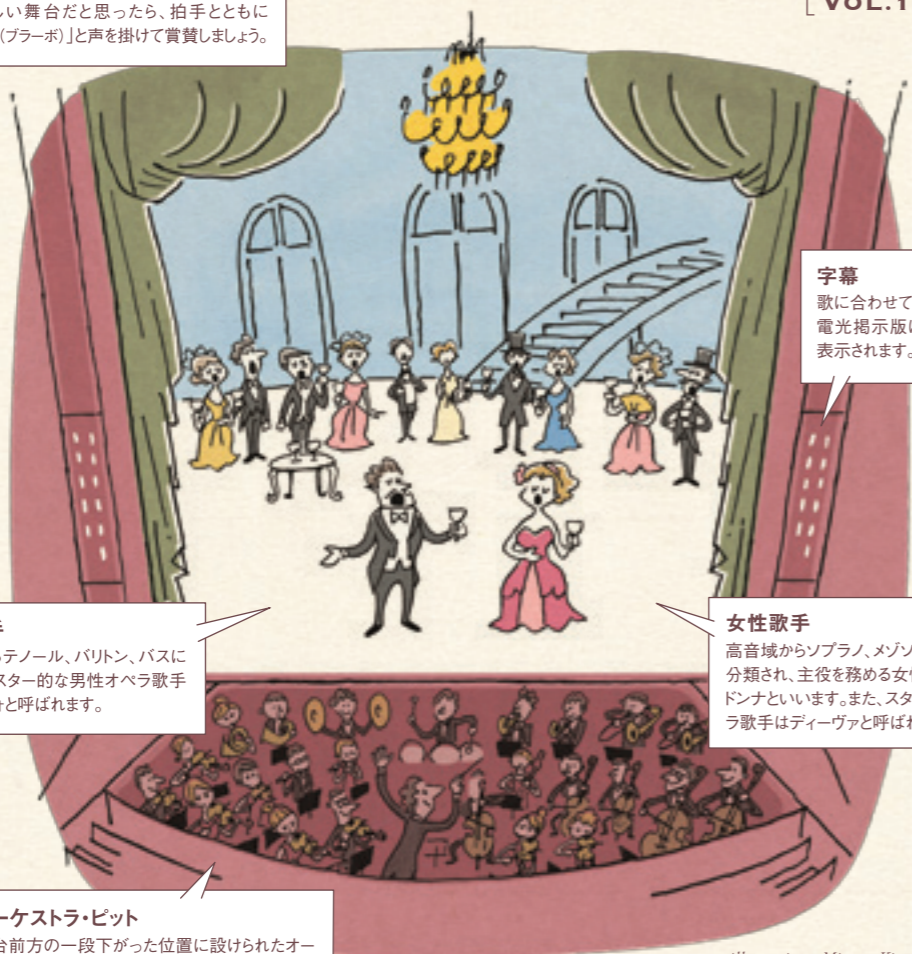
～ 劇場がある暮らし ～

まちの劇場を、もっと身近に。舞台や劇場の楽しみ方をご提案します。

[ VOL.1 : オペラ ]

### カーテン・コール

幕の終わりや終演時に出演者が出てきます。素晴らしい舞台だと思ったら、拍手とともに「Bravo!(ブラーボ)」と声を掛けて賞賛しましょう。



**字幕**  
歌に合わせて舞台の両側にある電光掲示板に字幕が縦書きで表示されます。

**女性歌手**  
高音域からソプラノ、メゾソプラノ、アルトに分類され、主役を務める女性歌手をプリマドンナといいます。また、スター的な女性オペラ歌手はディーヴァと呼ばれます。

**男性歌手**  
高音域からテノール、バリトン、バスに分類され、スター的な男性オペラ歌手はディーヴォと呼ばれます。

**オーケストラ・ピット**  
舞台前方の一段下がった位置に設けられたオーケストラが演奏する場所。「オケピ」とも呼ばれ、指揮者はオーケストラと歌手の両方を指揮します。

illustration : Minoru Kimura

石狩市を拠点に、主に金属を用いた彫刻を手掛ける川上りえさん。金属というマテリアルに対する思い、空間に大地のエネルギーを構築する哲学とは何か？3月に札幌文化芸術交流センター SCARTSで開催される個展を前に、作家としての流儀を伺いました。

連載 | アーティストボイス |

# 金属が揺り動かす生命力



美術家  
川上りえ

人の感情を拒絶するような  
金属の無情さに惹かれて美術家に

—川上さんは、これまで主に金属を用いた彫刻作品を創作してきましたが、金属に惹かれたきっかけを教えてください。

川上 大学を受験するとき、初めは絵を描きたかったけど、勉強しているうちに金属彫刻の作品に感化され、金属で立体作品をつくるのが憧れになりました。金属の無情的な表情、人の感情を拒絶するような孤独感、無情さのようなものが、自分にとってしっくりくる世界観だったので。

—北海道・石狩市を拠点にしている理由はなんですか？

川上 大学院を修了後、研究生として在籍していましたが、パートナーが北海道に就職することとなり、そのまま一緒に移り住んだのがきっかけ。当初は札幌などに住んでいましたが、広くて音が出せるスタジオを持ちたいと思い、1992年、この地にアトリエと自宅を建てました。北海道の広大さは、作品づくりに何らかの影響があるかもしれません。立体の創作には、空間性が大きく関わっているのです。

—作品づくりの発想はどのように行われますか？川上 創作には作品発表の場という目標が必要なので、まず展覧会の予定と会場を検討します。空間

Element of Earth (2017年)  
撮影/酒井広司



人間のより外側の視点から見える  
生命の力を目に見える形に

—ホームページの作家ステートメントという項目で「生命の力を目に見える形にしたい」と綴られています。その思いをお聞かせください。

川上 私が考える生命は、人間という枠よりもっと外側の視点から見える生命。有機的なものだけではなく、無機的なものの中に見られる現象が生命の営みだと思っています。努めているのは、物を遠くからの視点で捉えること。イームズの『パワーズ・オブ・テン』という映画がありますが、そこでは視点を離したり、すごく近づいたり、ミクロの世界に入り込んだり、振り幅の大きな見方がとても不思議で神秘的に感じる。自分の作品でもそのような表現をしたいと思ひ、挑戦を続けています。

—創作活動でこだわっていること、大切にしていることは何ですか？

川上 自分が作品の制作に身体的に関わることを大事にしています。制作は肉体労働で大変なこ

とが多く、途方に暮れてばかりいますが、最後のピークには昇天するような気持ち良さを感じるハйна状態になることもあります。

—時代によって表現手段の変化はあると思います。現在はどのような表現を追求していますか？

川上 少し前までは線素材を使って人や動物の形をつくるスタイルが多かったのですが、具象的な表現はそのイメージが先に伝わり、自分が表したいことが伝わらなくなるのでしばらくは封印。今は金属と生命が入り混じったような抽象的なテクスチャーを多く用いています。

大地の意志とエネルギーを描く  
ダイナミックなインスタレーション

—3月に札幌文化芸術交流センター SCARTSで開催される個展について教えてください。

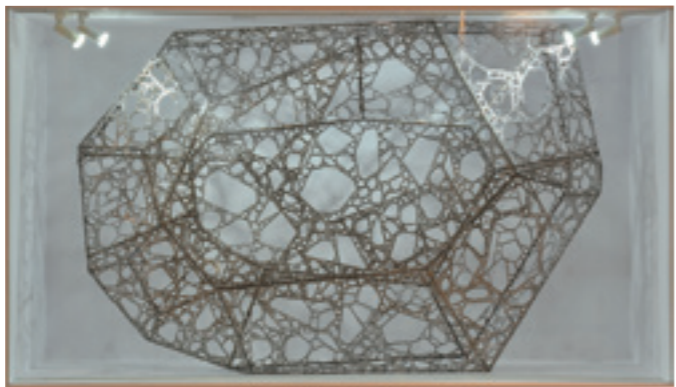
川上 会場となるSCARTSスタジオの図面を見たとき、「これは広い。作品の中に入っていきような空間設定にしよう」と考えました。展開するのは、ステンレスを用いた巨大岩のような立体造形によるインスタレーション。見る人がミクロの人間になって巨大な岩の世界に入っていく、大地の意志とエネルギーを感じるような情景を描きたいと思っています。

—アーティストとして、これから目指すこと、実現させたいことは何ですか？

川上 これからはよりコンセプトを煮詰め、もっと知的な分野からの解釈を取り入れていきたいですね。まだ漠然としたイメージですが、モヤモヤしているものを削ぎ落として、中心に向かって究めていきたいと思っています。

—川上さんの作品を通じて、見る人に伝えたいことは何ですか？

川上 世界はともダイナミックで、大らかにあなたを包んでいる。みなさんにそういう感覚を持つてほしいと思います。



Cloud Rock (2018年) 撮影/小室治夫

川上りえ

1989年東京藝術大学大学院修了。石狩市在住。個展「グッド」展を通して金属彫刻、インスタレーション、インタラクティブワークなどの作品を展開。アメリカや韓国、ルーマニアなどのアーティスト・イン・レジデンスプログラムや展覧会を通して、国内外で活動。2012年札幌文化奨励賞受賞。2016年「CAMPING NEAR THE WOOLEN MOUNTAIN」キャラクターデザイン(札幌)、COVER # Landscape Will On the Ground」(キャラクター)門ANNEX/札幌(五か)。



表紙の作品「Extended Light」と「Illogical Movement」では、鉄の線材によって、視覚的具體性と物理的な量感をそぎ落とした形状を創り出しています。線が生み出す空間は、文字通り「空想」の領域です。それは過去でもあり未来でもあり、ミクロあるいはマクロの世界とも言えます。感性の表現によって、自分が直接関わることが出来ない未知の領域と繋がりたい。そんな想いから作品を創り続けています。



Undulating Ground (2018年) 撮影/伊藤留美子



## 出張相談であなたの独立・起業をサポート。



札幌市図書・情報館は単に書籍が集う図書館ではありません。情報と付いているのはワケがあり、経済産業省が設置する北海道よろず支援拠点の出張相談を行っているのも、その理由の一つです。自分の店や会社を作りたいと思案中の人はもちろん、いつか独立や起業をしてみたいと漠然と思っている人にもぜひ知っておいてほしい札幌市図書・情報館の「情報」です。

**ビジネスの未来が広がる  
よろず支援拠点の出張相談**

経済産業省では、起業から売上拡大、海外展開に至るまで、経営に関するさまざまなサポートを行う「よろず支援拠点」を全国に設置。札幌市図書情報館でも館内に窓口を設けて、北海道、経済センタービル9階にある「北海道よろず支援拠点」の出張相談を週に2〜3回実施しています。日によっては日本政策金融公庫や法テラス札幌の相談窓口も開設されており、どれも予約の必要がなく、無料で相談できます。

ビジネスの窓口相談となるとハードルが高く思われがちですが、「情報は知りたいと思ったときに聞くのが一番」と教えてくれたのは、北海道よろず支援

拠点をチーフコーディネーター、中野貴英さん。「考えがまとまっていなくても大丈夫です。立ち寄ったついででも構いませんので、気軽にご相談ください」と背中を押します。図書情報館における出張相談で最も多いのは「起業」に関するものですが、「特に最近SNSなどでビジネスチャンスが広がり、趣味を仕事にしたいと考える人や、会社に勤めずに自分でできる範囲で仕事をしたいと起業する人も増えています」といいます。ビジネスとして成り立つのかといったところから、具体的に何をどう準備したらよいか、書類の書き方や資金の準備まで、「私たちが行っているのは、次の一歩を踏み出すために必要なことのアドバイス」と中野さん。「起業に限らず、ビジネスで求められる答えは一つではありません。いろいろな選択肢からどれを選ぶかは自分次第で、そこが最も迷い、悩むところです。大切なのは調べたり、聞いたり、いかにたくさん情報を得て、その中から自分が納得できる答えを見つけるか。そのためにも図書情報館や出張相談を活用してもらいたいと思います」。

**出店計画やブランニングに  
役立つデータベースも充実**

札幌市図書・情報館の「情報」として、出張相談に加えて知ってもらいたいのが、デー



札幌市図書・情報館のデータベース閲覧席。さまざまなデータベース(24種類)が閲覧でき、有料でプリントアウトすることもできます。

タベースの充実ぶりです。特に起業を考える人にお勧めしたいのが、「市場情報評価ナビ(Miena)」。ミナとも呼ばれるこのデータベースはエリアのマーケティングデータが集約されたサービスで、人口・世帯データや消費支出・購買力データなどから、住んでいる人たちの属性や傾向などをかなり細かく見ることが出来ます。中野さんも「お店を出したり、商品を販売したりする際の客観的な判断材料になりますし、逆にデータから潜在的なビジネスチャンスが見つかるかもしれません。他との差別化や戦略を練るうえでも大いに役立つ情報が詰まっていますよ」と絶賛。ぜひご利用ください。

◎開館時間 平日9時〜21時、土日祝10時〜18時  
◎休館日 毎月第2・第4水曜日  
※出張相談の窓口開設日はお問い合わせください

## みんなが参加できるシェイクスピア劇。

3月に札幌文化芸術交流センターSCARTSの公募事業として上演される「わたしたちの街の『ジュリアス・シーザー』」は市民参加型の舞台。ウィリアム・シェイクスピアの作品を、市民の皆さんと一緒に作り、ます。どのような形で参加でき、どんな作品になるのか、主催する弦巻楽団の代表、弦巻啓太さんに伺いました。

——市民参加型の舞台とは？

本番の5日前から制作の様子を公開し、市民の皆さんと一緒に作っていきます。具体的には小道具や舞台美術の制作などを手伝っていただいたり、稽古を見てもらって感想や意見を言ってもらったり。場合によっては、稽古に來られない役者のセリフを代わりに読んでもらうこともあるかもしれません。

——なかなか新鮮な試みですね

会場のSCARTSコートは通路部分からフラットに続いて、通りがかりの人にもアピールできる。そこが他の会場と大きく違う魅力です。その連続性を活かして、役者とお客さんが交流しながら作る舞台を企画しました。本番でも劇中に演説シーンが多くありますが、観に来てくださった皆さんにもローマの聴衆として参加してもらえたらと思っています。皆さんが演説に



向かって、「いいぞー」とか「違うだろー」と思わず言ってしまうような舞台になったら最高です。

——作品にシェイクスピアの「ジュリアス・シーザー」を選んだ理由は？

この作品はシーザー暗殺を描いたドラマですが、いろいろな人間が民衆に煽られ、その風向きによって運命に翻弄されていきます。しかし、その扇動も民衆が考えて起こしたものか、はたまた乗せられたものなのか。乗せようとするブルータスやアントニーも民衆に踊らされているように見えます。最近の日本は付度したり、空気を讀んだり、自分を出すのを避け、責任を押し付けられないよう必死な人が多い気がします。ですが、自分で考えて動くことは、とても大切で、この作品には、そうした現代にも通じる普遍的なテーマが描かれているんです。現代の私たちとは距離のある虚構の世界でありながら、演じてみると「私たち」

が透けて見えてくるのがシェイクスピア作品の面白さです。

——制作も公演も楽しみですね

演劇って特別な人たちだけが演じるものではないですね。この公演でも役者として活躍している人に加え、弦巻楽団が実施している演劇研究講座に通う学生や社会人の皆さんが出演します。一人ひとりが一流や特別じゃなくても、それぞれが創造性を発揮することで魅力ある演劇ができるんです。ぜひ皆さんにも力を貸していただき、一緒に作ることで演劇の身近さや魅力を感じてもらえたらうれしいです。無理やり舞台に引張り上げたりしませんので、気軽に遊びに来てほしいです。



わたしたちの街の「ジュリアス・シーザー」◎3月24日(日)〜4月1日(月)  
※28日までは公開制作、公演は29日から(全6ステージ)  
公演時間や料金はイベント情報をご確認ください。  
<https://www.sapporo-community-plaza.jp/event.php?num=107>

## SCARTSアートコミュニケーター、子どもたちとプラザをたんけん!

小学生向けバックヤードツアー「つながる はじまる たんけんたい」(1月6日開催)で、アートと人をつなぐ、アートを介して人と人をつなぐ活動を担うSCARTSアートコミュニケーターが子どもたちとプラザ内を探検しました。舞台技術、清掃、警備など、施設の各所でさまざまな仕事をしているスタッフに会い、それぞれのこだわりの仕事道具などについてインタビュー。アートコミュニケーターは子どもたちと一緒に楽しみつつ、活動をサポートしました。

## SCARTSアートコミュニケーター 活動レポート更新中!

アートコミュニケーターがFacebookページで情報発信しています。活動内容を随時更新していますので、どうぞご覧ください。



舞台公演で使う大道具などを制作する「工房」にもお邪魔して、お話を伺いました。子どもたちは初めて目にするさまざまな工具に興味津々!

“ここから生まれる文化芸術”がある劇場。



©小菅謙三

「山田さんの作品のオーディションを札幌で受けることができ、しかも上演されるのが新しい劇場だなんて、考えるだけでワクワクしかなかった」と振り返るのは札幌のバレエスタジオに所属する大森弥子さん。その経験は「今まで受けたどの指導とも異なり、自分で考えることが多かったのが新鮮でした」といい、「これまでは私が東京に行くしかなかったのが、逆に全国のダンサーが自分の住む街に来て、一緒に稽古するなんて。この劇場のおかげで改めて札幌という街に誇りを感じました」と喜びます。

同じくダンサーに選ばれた札幌の劇団に所属する小野洋子さんは「ダンサー

札幌文化芸術劇場 Hitaruのクリエイティブスタジオは、その名の通り、創造的な劇場です。既存の作品が上演されるだけでなく、一流の人たちと市民がその日、その場所だけの公演を一緒に生み出す、そういう機会も数多く設けられています。

実際にこけら落とし公演の「春の祭典」では、公演に向けてダンサーを募集。札幌在住者6名を含む12名のダンサーがオーディションで選ばれ、日本を代表する振付家・山田うんさんとの14日間の稽古を経て本番に挑みました。



©小菅謙三

左から小野洋子さん、大森弥子さん

として足りていないことに苦しさもありましたが、全国からやってきた同世代の人たちと一つの作品を作り込む楽しさも実感した毎日でした。普段演劇に取り組んでいる私がこのオーディションに参加できたのは、クリエイティブスタジオという、いろいろなものを生み出そうという場があったおかげ。バレエやダンスに限定された場では参加できなかったと思います」。

公演を終え、「若いダンサーたちは私が思う以上にたくましく、こけら落とし公演にふさわしい、勢いのある美しい舞台になったと思います」と振り返る山田さん。「春の祭典」という作品は「見る」のではなく、体験する「舞台芸術」です。舞台と客席が近いクリエイティブスタジオは、お互



©羽鳥直志

**山田うん**  
振付家・ダンサー。器械体操・バレエ・舞踏などを経験し、2009年に自身のダンスカンパニーである「Co.山田うん」を設立。オペラ・演劇の振付や、世界各国のプロダンサー育成でも活躍。平成26年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。平成28年度文化庁文化交流使。

いの呼吸を感じられる誤魔化せない空間を持ち、作品に必須となる観るものと演じるものの理想的な関係を作ってくれたと感謝しています」。

クリエイティブスタジオはアーティストとアーティスト、アーティストと観客、観客と観客をつなぎ、特別な機会を届けられる劇場。山田さんも「今回、札幌、そして本州のダンサーが出会ったように、これからもこの劇場を通じた出会いにより、ここにしかない良質な作品がどんどん作り出されていくことでしょう。皆さんもぜひ、クリエイティブスタジオで、ぜひいたくすぎるほど生きた芸術の蜜を味わってくだささい」と劇場の今後に期待を寄せています。

コーヒー豆は生きている。木の実の種であるコーヒー豆は、新鮮であるほど青々しさが強く、含まれる水分量によっても味が変化する。《MORIHICO.》では、豆の状態を毎日確認し、ほどよく熟成させた最適なタイミングで焙煎することで、味・香り、そして美味しさを最大限に引き出している。

《MORIHICO.》の焙煎は札幌市・菊水にある店舗「Plantation」で行われている。店内には2台の焙煎機があり、特に目を引くのは昨年12月に導入されたばかりの大型焙煎機だ。オレンジ色に輝くその焙煎機は、スイスに本社を置くビュラー社製の特注品。最大60キログラムのコーヒー豆を一度に焙煎できることから、販売用の豆や受託商品といったロット数の多い豆のローストに使われている。

一方、「MORIHICO. 芸術劇場」をはじめ、各店舗で提供するコーヒーの豆を焙煎しているのは、直火式の焙煎機。こちらは火加減や排気の調整などがすべて手動で、店内に入ってしまう場所があるので、焙煎士がつきっきりで作業しているのを見たことがある人も多いのではないだろうか。重い麻袋からバケツに移し替えた生豆を少量ずつ投入し、200度を超える熱い釜のすぐ横で設定温度や空気弁の排気を細かく調整していく焙煎士。作業はプロファイリングされた過去

のデータを元にして進められるものの、日々の温度や湿度、そして風の状態にも左右されることから一度として同じシチュエーションがなく、その味を決めるのは焙煎士の経験や感覚によるものが多い。焙煎士の佐藤京兵さんは「豆に火が入るとパチッ、パチッとはぜる音が聞こえてきます。その音や豆の色などを見て、浅煎り・中浅煎り・中煎り・中深煎り・深煎りの具合を見極めていきます」といいます。

焙煎の後には現地で生豆を天日干しした際に混入した石や木の枝などの異物を機械や手作業で除去。さらに焙煎した後の豆からは炭酸ガスが出てくるため、コーヒーの味を安定させるため5日間のエイジング期間を設けるというこだわりぶり。「焙煎は美味しいコーヒーをつくる根幹の一つではありますが、『主役』ではなく『つなぎ役』です。まず初めに豆があり、焙煎はその豆を生かす作業。そして、私たちの次には淹れる人がいます。人と人、そして豆とのつながりが途切れなく、一貫して管理されているのが《MORIHICO.》の強みであり、美味しさにつながっています」。

「MORIHICO. 芸術劇場」で提供されるコーヒーには、目の前にいるバリスタやスタッフだけでなく、その向こう側にいる人たちの情熱や想いも詰まっています。



その一杯の向こう側に。



2019年4月-9月

札幌文化芸術劇場 hitaru クリエイティブスタジオ

4月19日[金]-20日[土]

**Noism 2**  
金森稔振付Noismレパートリー  
平原慎太郎 演出振付 新作「BOW!!!」

19日[金] / 18:30開場 19:00開演  
20日[土] / 14:30開場 15:00開演

りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する日本初の公共劇場専属舞踊団Noismの研修生カンパニーNoism2による躍動するダンス公演。



Noismレパートリー (2018) ©Isamu Murai

5月11日[土]

公募企画事業 併催事業  
**北海道二期会**  
**Viva! オペラ! Opera!**

8月10日[土]-11日[日]

マームとジブシー 藤田貴大 作・演出  
**「めにみえない みみにしたい」**

マームとジブシーを主宰する劇作家 藤田貴大が、初めて手がけた4歳から大人まで一緒に楽しめる演劇作品。2018年埼玉公演で好評を博し、全国14劇場を巡る旅公演がクリエイティブスタジオへ。



©藤山紀信

7月13日[土]-14日[日]

公募企画事業 併催事業  
北海道ダンスプロジェクト ダンスワークショップ  
**「札幌市民交流プラザで踊ろうよ」**(仮称)

9月15日[日]-16日[月祝]

hitaru 午後のひととき  
**バロックオペラの魅力**(仮称)

作曲家、オペラ演出家としても活躍するカウンターテナー 彌勒(みろく)忠史が、チェンパロの音色とともにお届けするバロックオペラのアリア名曲集。



札幌文化芸術交流センター SCARTS

年5回開催(4月~)

**まちなかお昼のおんがくかい**



5月19日[日]-5月25日[土]  
**アートボランティアウィーク @ SCARTS**

5月21日[火]-5月25日[土]

**砂澤ビッキウイーク**  
札幌芸術の森美術館と札幌彫刻美術館での砂澤ビッキ展と連動した講話、映像上映、写真展示等。

年5回開催(6月~)  
**SCARTS**  
**レクチャーシリーズ**

8月17日[土]-9月16日[月祝]

**鈴木康広展**



日常の物事や自然現象をモチーフに、観る者に視点の転換をもたらす作風で知られる鈴木康広の個展。SCARTS全館を使い、代表作に加え、新作を展示。

(空気の人) (2014)  
鈴木康広「見立て」の実験室 (2014年、金沢21世紀美術館 デザインギャラリー)  
オープニング・プログラム(大きな空気の人)あらかわ  
撮影:木奥恵三 画像提供:金沢21世紀美術館

主な共催事業



三遊亭円楽プロデュース  
TVh 落語 x 道新寄席  
**さっぽろ落語まつり**  
**~東西の人気落語家が札幌に大集結!~**  
5月24日[金]-26日[日]  
札幌文化芸術劇場 hitaru、道新ホール、共済ホールの3会場



**ミュージカル「レ・ミゼラブル」**

9月10日[火]-17日[火]

日本では1987年に初演されて以来、熱狂的に支持されているミュージカルの金字塔「レ・ミゼラブル」。北海道では29年ぶりの公演となる。「民衆の歌」や「夢やぶれて」など名曲の数々が北海道に感動を巻き起こす。

TOPIC 北海道にワクワクと元気を——レ・ミゼラブル製作発表記者会見

1月23日、ミュージカル「レ・ミゼラブル」の製作発表記者会見が東京都内で開催されました。会見には総勢72人のキャストが出演し、迫力ある歌唱を披露。札幌出身でエポニーヌ役の唯月ふうかさんは「地元の札幌で公演できることに特別な思いを感じています」と挨拶し、質疑応答では、旭川出身の福井晶一さんとベテラン出演者の森公美子さんが北海道公演に向けての思いを語ってくれました。



**福井晶一**(ジャン・バルジャン役)  
「僕自身、札幌で舞台を見て、ミュージカルの世界を目指しました。その北海道でこの作品を届けられることに今からワクワクしています。公演は昨年の地震からちょうど1年が経つ9月。さまざまな思いや祈りも込めて演じたいと思っています。」



**森公美子**(マダム・テナルディエ役)  
「この作品を通じて札幌、そして北海道の皆さんに元気と勇気を届けられたら。あと、北海道は本当においしいものが多く、9月は特にうまいものがあると思うので、たくさん食べて衣装さんを困らせたいですね。今回が最後のレミゼ出演という気持ちで挑みます。」

※スケジュールは変更となる場合があります。(2月15日現在)

札幌文化芸術劇場 hitaru

5月6日[月祝]  
**ゴジラ vs 札響**  
**~伊福部昭の世界~**



1954年公開の映画「ゴジラ」第一作と、映画を彩った北海道出身の作曲家・伊福部昭の音楽が、札幌交響楽団の生演奏とともにライブ・シネマ形式で蘇ります。また前半では、「ゴジラ」作品にも出演した俳優・佐野史郎を迎え、指揮の和田薫とのトークショーも実施。

6月14日[金]  
hitaru 夜のひととき  
**情熱のギターデュオ(仮)**



photo: Yosuke Komatsu (ODD JOB)



世界で活躍するジャズ・ギタリスト渡辺香津美とクラシック・ギタリスト村治佳織のデュオコンサート。日本ギター界のトップアーティストたちが初夏の宵に奏でる情熱の調べ。

8月3日[土]-4日[日]

ブッチェニ作曲 オペラ  
**「トゥーランドット」**



札幌文化芸術劇場 hitaruこけら落とし公演 オペラ「アイーダ」に引き続き、2019年度は、アジア(中国)が舞台となる「トゥーランドット」(ブッチェニ作曲)を開催します。スペインの演出家集団で、バルセロナオリンピック

開会式の演出を手がけたラ・フーラ・デルス・ハウスの芸術監督であるアレックス・オリエが演出します。また、本プロジェクトを発案した指揮者大野和士が音楽監督を務めるバルセロナ交響楽団が24年ぶりに来日する注目の公演となります。新国立劇場、東京文化会館、びわ湖ホールとの共同プロジェクトによるオペラ公演、是非hitaruへお越しください。

9月22日[日]  
公募企画事業  
北海道ダンスプロジェクト公演  
**HDP DANCE PREMIUM 2019**

貸館事業としてのイベント

4月7日[日]  
絢香 "30 y/o" Tour 2018-2019  
supported by 日本セーフティー  
マウントアライブ 011-623-5555

4月10日[水]  
玉置浩二 プレミアム  
シンフォニックコンサート2019  
道新プレイガイド 0570-00-3871

4月20日[土]  
サンスターファミリーミュージカル  
キャンペーンお問い合わせ先  
06-6205-8181

4月21日[日]  
北海道歌謡連盟  
第30回  
全道グランドチャンピオン大会  
札幌歌謡連合 011-377-5350

4月28日[日]  
第40回 市民バンドフェスティバル  
in Sapporo  
サッポロシンフォニックバンド  
011-765-2230

5月15日[水]  
島津亜矢 コンサート  
トラスト企画フリエート 011-261-9991

5月17日[金]-18日[土]  
E.G. POWER 2019  
~POWER to the DOME~  
ミュージックファン 011-799-1000

5月19日[日]  
ウィンドアンサンブル  
ドゥ・ノール 第29回定期演奏会  
ウィンドアンサンブルドゥ・ノール  
080-1896-8669

5月21日[火]-23日[木]  
宝塚歌劇星組全国ツアー  
北海道公演  
キョードー札幌 011-221-0144

5月29日[水]  
NACSYMPHONY 2019  
「COLOR~  
彩り続けた楽曲たちの調べ」  
オフィスキューお問い合わせダイヤル  
011-219-0939

6月1日[土]  
PMF hitaru  
is There  
ミュージックファン 011-799-1000

6月7日[金]  
鼓童 ワン・アース・ツアー2019「道」  
道新プレイガイド 0570-00-3871

6月8日[土]-9日[日]  
YUKI concert tour  
"trance/forme" 2019  
ミュージックファン 011-799-1000

6月23日[日]  
45th ANNIVERSARY  
BEST HIT ALFEE 2019 春の乱  
マウントアライブ 011-623-5555

6月28日[金]  
東海大学付属札幌高等学校  
吹奏楽部 第42回定期演奏会  
東海大学付属札幌高等学校  
011-571-5175

6月30日[日]  
オーケストラ HARUKA  
第15回演奏会  
オーケストラ HARUKA  
090-5076-0383

7月18日[木]-19日[金]  
-15th ANNIVERSARY-  
JUJU HALL TOUR 2019  
「YOUR REQUEST」  
マウントアライブ 011-623-5555

7月28日[日]  
PMF hitaru  
スペシャル・コンサート  
PMF組織委員会 011-242-2211

8月10日[土]  
キエフ・クラシック・バレエ  
道新プレイガイド 0570-00-3871

8月11日[日]  
札幌100交響楽団  
第25回定期演奏会  
札幌100交響楽団  
080-9616-8100

8月12日[月祝]  
サマーコンサート2019  
北海道公演  
東京大学音楽部管弦楽団  
080-5593-0293

8月18日[日]  
2019 ジャズダンス・ナウ  
ジャズダンス・ナウ実行委員会  
011-563-3823

8月22日[木]  
Dcappella(ディカペラ)(仮称)  
チケットインフォメーション  
011-622-9999

8月23日[金]  
北島兄弟(仮称)  
民主音楽協会 011-642-5601

8月31日[土]  
明治大学マンドリン倶楽部  
札幌演奏会  
明治大学校友会札幌地域支部  
011-821-0116

9月30日[月]  
~永遠のタンゴ~  
エクトル・デル・クルト  
タンゴ五重奏団  
オフィス・ワン 011-612-8696



le trois  
**キレイ、ステキ、オイシイ。**  
**le trois**  
 ル・トロワ  
 地下直結

大通西1丁目  
 (大通駅24番出口直結)

営業時間 10:00~21:00  
 (レストランは11:00~23:00)  
 ※店舗により異なる場合があります。

創造都市さっぽろ WAON

**創造都市さっぽろ WAON**

「創造都市さっぽろWAON」は、札幌市の文化芸術振興を応援します。

- ご利用金額の一部を札幌市に寄付させていただき、札幌市の文化芸術振興に活用されます。
- 本カードデザインは、札幌市立大学の学生が制作したイラストを採用しました。

AEON イオン北海道株式会社

札幌文化芸術劇場 hitaruでは1月21日、札幌市内の中学2年生を対象とした青少年向けバレエ鑑賞事業を開催しました。  
 hitaruのオフィシャルスポンサーである株式会社ニトリの特別協賛などによって実現した本事業の目的と取り組みについてご紹介します。

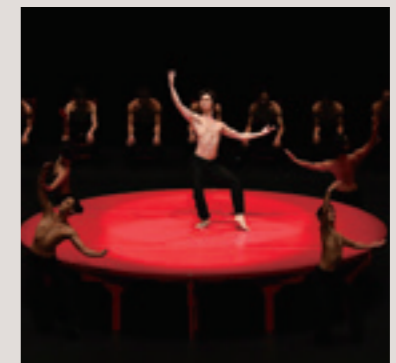


札幌市芸術文化財団では札幌芸術の森の「ハロー！ミュージアム」(小学5年生対象)、札幌コンサートホールKitaraの「Kitaraファースト・コンサート」(小学6年生対象)をはじめ、子どもたちと文化芸術をつなぐ事業を数多く行っています。「青少年向けバレエ鑑賞事業」もその一つ。札幌文化芸術劇場 hitaruにおいて、子どもたちと一流の舞台芸術をつなぐ機会の提供を目的とした事業です。総合芸術といわれるバレエを通して、豊かな感性や情操、生涯にわたって芸術を愛好する心を育むお手伝いができればと企画しました。

初開催となった今回は、国内のみならず、世界の檜舞台でも喝采を浴びてきたチャイコフスキー記念東京バレエ団を招致。札幌市内の中学2年生を対象に学校単位で募集を受け付け、抽選で選ばれた全26校2千2百人に古典バレエの名作「白鳥の湖」第2幕と、現代バレエの傑作「ボレロ」を鑑賞いただきました。また、目的である「芸術を愛好する心を育む」ために、演目の合間には劇場やバレエの内容を解説するコーナーを用意。学校での事前学習や事後学習に使えるハンドブックも制作し、参加校へ公演前に配布しました。

また、公演前の事前アンケートでは、今回初めてバレエ等の舞台芸術を鑑賞した中学生が多かったことで、札幌文化芸術劇場 hitaruが誕生したことを契機に、今後も青少年が舞台芸術に触れる機会を増やしていきたいと思っています。

上演権が許されておらず、この機会がいかに貴重なものであるかなど、単に公演を催すだけでは伝えられない情報を写真やイラストを使って分かりやすく紹介。敷居が高くなりがちな劇場やバレエに親近感と興味を持っていただけるよう努めました。さらに進路探求や総合的な学習にも役立てていただけるよう、バレエの公演は舞台上で踊るダンサーだけではなく、照明や音楽家、スタイリストなど実にはさまざまな職業の人たちに支えられていることを伝えるページも設けました。





血液のこと、知っていますか？

勇気会 医療法人  
**北央病院**

札幌市厚別区青葉町 11 丁目 2-10 (南郷通沿い)  
TEL.011-892-8531 (代)

**Coca-Cola**

～北の大地とともに～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社  
HOKKAIDO COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. <コカ・コーラ指定会社>

生活協同組合コープさっぽろ [CO・OP 共済ニュース]

組合員の皆様の暮らしに必要な保障を支える

組合員の声から生まれた  
**CO・OP 共済**

家族一人ひとりにあったコースをお選びいただけます

CO・OP共済 **たすけあい** CO・OP共済 **あいぷら**  
プラチナ85 **ぞとあい**

資料請求はお気軽に! ☎ **0120-25-9431** □ <http://coopkyosai.coop>  
コープさっぽろ各店舗またはトック配達担当者までお問い合わせください

**Chick Corea Trilogy**

チック・コリア トリロジー  
featuring クリスチャン・マクブライド and フライアン・ブレイド

2019.3.31 [日]  
開場 15:00 開演 16:00

札幌文化芸術劇場 hitaru  
全席指定 (税込) : 8,000円  
※未就学児入場不可

ご購入 お問い合わせ **道新プレイガイド** 検索 TEL.0570-00-3871  
【営業時間】10:00～18:00 (日曜定休)

安全と豊かな「カーライフスタイル」をトータルサポートいたします。

Hokkaido  
**BUBU**

IMPORT CAR DEALERS  
**MID**

株式会社 北海道ブブ <https://bubu-iss.com>

TANAKA MEDICAL GROUP

大きな輪であなたを支えます

笑顔絶やさず。優しさ忘れず。  
タナカメディカルグループ

**病院**  
札幌田中病院 334床  
札幌緑誠病院 342床  
札幌宮の沢病院 355床

**介護**  
介護療養型老人保健施設 博友会 127床  
特別養護老人ホーム 愛輪園 90床  
介護老人保健施設 愛の里 100床  
ケアハウス ホワイトキャッスル 100床

住まい サービス付き高齢者向け住宅  
ライフコート宮の沢 83戸  
ライフコート西野 82戸  
ライフコート手稲 81戸  
ライフコート手稲西 78戸  
ライフコートガーデン南館 81戸  
ライフコートガーデン東館 80戸  
ライフコート西宮の沢 80戸

在宅介護支援  
居宅介護支援事業所 愛輪園  
札幌市手稲区介護予防センター 新発寒・富丘・西宮の沢

タナカメディカルグループ  
[www.tanakamedical.net](http://www.tanakamedical.net)

おかげさまで、道民共済は  
顧客満足度 **第1位**

生命保険部門

2017年度  
JCSI (日本版顧客満足度指数) 調査

お問い合わせと資料のご請求は **道民共済**

〒064-0820 札幌市中央区大通西20丁目1-2  
☎ **011(611)2456 (代)**

冠婚葬祭  
AIPLAN **あいプラン** つみたててる?

**会員募集中!**

(お問い合わせ・お申し込みは)  
●お客様相談センター  
☎ **0120-335-924**

**DAFNE** RESTAURANT

ダフネのパーティープラン ご予約受付中 011-211-0813

ban.K  
札幌都心から20分。

さらけに強く。輝く山へ。

さっぽろばんけいスキー場 [www.bankei.co.jp](http://www.bankei.co.jp)  
〒064-0945 札幌市中央区豊栄410番地 TEL.011-641-0071

クロド・ソレイユ 葡萄酒と西洋料理  
Clos de Solstice

Wine BAR クロド・ルパン  
上質な時間を約束する大人の隠れ家のワインバー

予約・お問い合わせ TEL:011-531-3151  
住所/札幌市中央区南4条西3丁目第3グリーンビルB1  
営業時間/18:00～25:00 定休日/日曜・祝祭日・第3日曜

予約・お問い合わせ TEL:011-222-0767  
住所/札幌市中央区南1条西4丁目わくわくホリデーB1  
営業時間/19:00～23:00 定休日/日曜・祝祭日

**TAIYO GROUP** <http://www.taiyogroup.jp/>

**伊藤組土建株式会社**

代表取締役社長 玉木 勝美

札幌市中央区北4条西4丁目1番地 TEL 011 (241)8477

誠実の一路を開拓者精神で貫く

**岩倉建設株式会社**

**岩田地崎建設株式会社**

代表取締役社長 岩田 圭剛

本社/札幌市中央区北2条東17丁目2番地  
URL <http://www.iwata-gr.co.jp>

札幌駅前通まちづくり株式会社  
URL | [www.sapporokimae-management.jp](http://www.sapporokimae-management.jp)  
f sapporokimae-dori

チ・カ・ホヤアカブラ、札幌駅前通を楽しく使いやすくなるためのお手伝いをします

チ・カ・ホ **AKAPLA**

北海道ミルククッキー  
**札幌農学校**

**KINOTOYA** 北海道大学認定

**Instagram**

**mcgri imci** **MITSUKOSHI**


**丸彦渡辺建設株式会社**  
MARUHIKO  
代表取締役社長 藤城 英樹  
札幌市豊平区豊平6条6丁目5番8号 TEL(011)811-8121

北海道のおいしさを、まっすぐ。  
**よつ葉**

学校法人 **札幌大谷学園**  
SAPPORO OTANI GAKUEN  
札幌大谷大学 札幌大谷高等学校  
札幌大谷大学短期大学部 札幌大谷中学校  
札幌大谷大学附属幼稚園 札幌大谷学園附属音楽教室

**札幌市交通局**  
http://www.city.sapporo.jp/st/  
hitaruにお越しの際は便利な地下鉄をご利用ください。

札幌文化芸術劇場 hitaru  
オフィシャルスポンサー募集中  
新しい札幌を創造する文化拠点「札幌文化芸術劇場 hitaru」の活動をご支援くださる市民・企業の皆さまをお待ちしています。詳しくは札幌市民交流プラザのホームページをご覧ください。



**SAPICA**  
https://www.sapica.jp

日本新三大夜景 **札幌**  
標高531m。札幌を代表する夜景スポット もいわ山  
※2018年10月「夜景サミット2018 in 札幌」にて札幌市は、長崎・北九州とともに日本新三大夜景に認定されました。  
**札幌 もいわ山ロープウェイ** 札幌市中央区伏見5丁目3-7 TEL:(011)561-8177  
※営業時間等、詳細はお問い合わせください。

いいこと、あつまる。  
**さっぽろ地下街**  
オーロラタウン ■ ポールタウン

CLASSIC SAPPORO 北海道のビール。これが、  
CLASSIC ONLY 北海道!  
ストップ!未成年飲酒・飲酒運転 サッポロビール株式会社

ANA CROWNE PLAZA SAPPORO

人と環境にやさしい **JB** ジェイ・アール北海道バス

株式会社 **じょうてつ**  
JOETSU CORPORATION

**ANA**  
Inspiration of JAPAN

**大成建設**  
TAISEI  
For a Lively World

おかげさまで、東急百貨店は創業85周年。  
hug everyone.  
さっぽろ東急 **TOKYU**  
〒060-8619 札幌市中央区北4条西2丁目 TEL.011-212-2211(代表) www.tokyu-dept.co.jp/sapporo  
営業時間: 10時~20時 (10階レストラン街[ダイニング ダイニング]11時~22時30分 ※一部店舗は除く)

**JAPAN AIRLINES**  
JAL 国内線 **Wi-Fi無料1周年**  
詳しくは www.jal.co.jp/dom/wifi\_free/

**ホクレン**

**HAC**  
HOKKAIDO AIR SYSTEM

**北海道科学大学**  
北海道科学大学短期大学部  
+Professional

ハートフルネットワーク  
**北海道中央バス**

札幌市民交流プラザメンバーズ

会員募集中

「札幌市民交流プラザメンバーズ」は、市民交流プラザにより親しんでいただくための会員組織です。  
チケットの先行発売や公演情報の提供など、さまざまな特典をご用意しております。  
皆さまのご入会をお待ちしております。

ウェブ **WEB会員**

年会費無料

特典 メールマガジンの配信

月2回程度、札幌文化芸術劇場 hitaruの公演情報やチケット情報、札幌文化芸術交流センター SCARTS、札幌市図書・情報館のイベント情報などをメールマガジンで配信いたします。

ダイレクトメール **DM会員**

年会費無料(但し、送料・事務手数料1,000円/年度)

特典 情報誌「WAVE TIMES」、イベントスケジュール「PLAS」等の送付

2か月に1回、札幌市民交流プラザの情報誌やイベントスケジュール、主催公演チラシなどを郵送いたします。

WEB会員・DM会員に共通の特典

**主催公演のチケット先行発売**  
札幌文化芸術劇場 hitaruが主催する公演のチケットを一般発売に先駆けてご購入いただけます(完売によりご購入いただけない場合がございます。あらかじめご了承ください)。

**リハーサル見学**  
札幌文化芸術劇場 hitaruの主催公演(一部)のリハーサルをご覧ください(応募者多数の場合は抽選)。

**施設見学会**  
札幌文化芸術劇場 hitaruの施設見学会にご参加いただけます(応募者多数の場合は抽選)。

**プラザ内のカフェ・レストランでの優待**  
■1階カフェ「MORIHICO、芸術劇場」での優待  
■2階レストラン「DAFNE」での優待

**プラザ近隣のホテル・飲食店等での各種優待**

■近隣ホテルや飲食店等(2019年1月末時点で約90店舗)での各種優待  
※詳細はメンバーズHPをご確認ください。  
https://sapporo-cp-members.jp/privilege



札幌市民交流プラザメンバーズ事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2階 札幌市民交流プラザチケットセンター内  
**TEL.011-271-2345** (10:00-19:00、休館日を除く)

※札幌市民交流プラザはメンバーズ事務局業務を(株)道新文化事業社(道新プレイガイド)に委託しています。

入会方法、規約など詳しくはWEBサイトをご覧ください ▶ <http://sapporo-cp-members.jp/>

